事業所名

^{グループホーム} ほほえみ

日付

平成19年1月15日

評価機関名

有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員 : 薬剤師 介護支援専門員

介護経験歴6年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

し、対応にも優れています。

外部評価の結果

全体を通して(特に良いと思われる点など)

(記述式)

優しくまたよく気がつく職員の対応を感じま した。料理も上手で、メニューは決まっているよ うですが、それぞれの入居者に合わせた調理 法方で食べやすく工夫されていました。

職員の採用に関しては、代表者は「しっかり と料理の出来る主婦」を中心として採用してい るそうです。地域柄、高齢者と一緒に生活して いる職員が中心なので、入居者への接し方や 介助等の対応は大変上手でした。

入居者はのんびりと自然に溶け込んだ環境 の中で、のびのびと生活をしています。グル-プホーム全体にゆったりとした爽やかな時間 が流れているように感じました。

改善の余地があると思われる点(記述式)

・職員も入居者も地元の人が中心で、職員は入居者の家庭の事をほとんど把握してい - MIRA U ハルコロ いセルルハハ・サル C、 MI具は八店者の家庭の事をほとんど把握しています。済化込みすぎも、時にはプライバシー保護の面でマイナスに働く事もあるのではないかと感じました。

・人居者の今の状態を家族に伝えるのが少し不足しているように感じました。判断は難しいですが、良い事も悪いことも含めてすべてを伝えていくことで、さらに家族との絆がより密な関係に発展するのではないかと思いました。

i 運営理念

· ~	2.2.0		
番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述 項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述	(記述式で回答)		
	穏やかに過ごしてもらう、また個々にあった介助をす		
	る事を目標にしています。職員採用に		
	採用することで、いつも笑顔で明るい。		
	うに心掛けています。 職員は入居者の:	気持ちを。	よく祭

Ⅱ 生活空間づ(り)

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	人居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	人居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述			

回答 (記述式で回答)

入居者のリズムを大切にしています。 入居者に自分自 身を持ってもらう為、ホーム内で仕事を探してもらって います。また帰宅願望がある入居者の前では、配偶者な どの話はしないようにしています。

!!! ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と人居者が感情表現できる働きか け		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法·盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

!!! ケアサービス(つづき)

	15 D	マキア!!?	而少 羊
番号	<u>垻</u> 日	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあ わせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、 入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
	家族の訪問支援		
記述 項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のカ	こめ取り組んでに	1るものは何か
記述 回答	(記述式で回答)		
	・人居者一人一人を尊重するために、職員間の申し送りな どの時は出来るだけ入居者の名前を言わないようにして		

います。 ・今入居者にとってできる事をお願いし、手伝ってもらうこ

とで自信を付けてもらおうとしています。

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発ものは何か。	生を契機として	、努力している

入居者にとって何が出来るかを職員一丸となって 考えています。また今の状態を把握して、少しでも介 護度が軽くなるようにとの思いで、日々努力してい ます。